



ジョブの管理

このセクションでは、次の点について説明します。

- [ジョブの管理 \(1 ページ\)](#)

ジョブの管理

Cisco Prime Collaboration Assurance を使用すると、[ジョブ (Jobs)] ペインですべての即時ジョブおよび定期ジョブの詳細を表示できます。手動でスケジュールされるジョブは、検出、インベントリ更新、会議インポートです。ポーリング ジョブは、ユーザ設定値に基づいて、トリガーされます。

表 1 : Job Details [ジョブ管理 (Job Management)] ページ (に表示されるフィールドの説明を示します。[システム管理 (System Administration)] > [ジョブ管理 (Job Management)]。最新情報を取得するには、ページを更新します。

表 1 : Job Details

フィールド	説明
Name	Cisco Prime Collaboration Assurance で定義されたジョブの説明です。
Type	ジョブのタイプを示します。
Description	ジョブの説明です。

フィールド	説明
Status	<p>ジョブのステータスです。次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Completed : ジョブが完了しました。ジョブが完了しても、成功したとは限りません。ジョブがいくつかのデバイスで失敗している可能性もあります。ジョブの詳細は、ページの左端にある矢印をクリックして [Job Instances] テーブルで表示できます。 • Cancelled : ジョブがキャンセルされました。スケジュール済みジョブをキャンセルできます。ただし、実行中のジョブまたはシステム ジョブ（たとえば、ポーリング ジョブ）はキャンセルできません。 • Scheduled : ジョブは、特定の時刻に実行されるようにスケジュールされています。ジョブは一度で実行されるか、または複数回繰り返し実行されるようにスケジュールできます。 • Suspended : ジョブは一時的に停止されました。後で実行を再開できます。 • Running : ジョブが実行中です。
Owner	<p>ジョブを作成したユーザです。事前定義されたシステム ジョブの場合、[Creator] には [SYSTEM] と表示されます。</p>
Job Start Time	<p>ジョブが最初に実行をスケジュールされている時刻。</p>
Job End Time	<p>ジョブがアクティブになっている時間です。スケジュールされているすべてのジョブのインスタンスを実行したら、ジョブは非アクティブになります。</p>
Next Scheduled Time	<p>以降のジョブ インスタンスの開始時刻です。これは、定期的に繰り返されるジョブに適用されます。即時ジョブまたはワнтаイム ジョブのいずれかの場合、[Job Start Time] および [Next Scheduled Time] に表示される時刻は同じです。</p>

フィールド	説明
Schedule Type	ジョブが定期的または一度実行するようにスケジュールされているか示します。
[Job Details] ペイン	
Run ID	定期ジョブの場合、ジョブインスタンスカウントが表示されます。定期ジョブではない場合、ゼロを表示します。
Status	同じジョブのジョブインスタンスのステータスです。この列のクイックビューアイコンにマウスを合わせると、ジョブインスタンス結果が表示されます。
Status Progress	ジョブの段階と、完了率を示します。
Results	ジョブが成功したか、失敗したかを示します。
Start Time	同じジョブのジョブインスタンスの開始時刻です。
End Time	同じジョブのジョブインスタンスの終了時刻です。
Duration	同じジョブのジョブインスタンスの開始時刻と終了時刻との間で経過する時間です。



(注) ページポリシーの詳細については、「[ページポリシーテーブル](#)」を参照してください。

ジョブをスケジュールする

[ジョブの詳細 (Job Details)] ペインの [スケジュールと設定 (Schedule and Settings)] タブで、ジョブのスケジュールやオプションの設定ができます。



(注) スケジュールと設定のタブは、検出ジョブに対してのみイネーブルになります。検出ジョブをスケジュールできるのは、[インベントリ管理 (Inventory Management)] ページのみです。[ジョブ管理 (Job Management)] では、ジョブのスケジュールはできません。

次のいずれかのステータスを持つ検出ジョブのスケジュールのみを変更できます。

- スケジュール済み

- 不合格

ジョブをスケジュールリングする手順は次のとおりです。

ステップ 1 [ジョブ (Jobs)] ペインでジョブを選択し、[詳細 (Details)] ペインの [スケジュール (Schedule)] タブをクリックします。

ステップ 2 [Schedule Options] で、開始時刻、終了時刻、繰り返しを選択します。

[Daily]、[Weekly]、[Monthly]のいずれかの繰り返しを設定し、日付と頻度を指定します。必要に応じてジョブを数時間おきにスケジュールリングするには、[Hourly] を選択する必要があります。

スケジュールが定義されます。繰り返しを [None] に設定すると、他の頻度の詳細を指定できません。

次のタイプの定期的な間隔を設定できます。

表 2: 定期的な間隔のタイプとスケジュール

定期的な間隔のタイプ	スケジュール
なし	他の周波数の詳細を指定することはできません。
毎時	ジョブは、指定した開始時刻に最初に開始され、その後、指定した間隔、つまり、指定した数時間ごと（日、時、分）に開始されます。
毎日	ジョブは 1 日に 1 回実行されます。 ジョブが毎日 HH:MM の形式で指定された時刻に開始することを意味します。 日ごとの時間間隔では、スケジューラは毎日指定した時間に開始時刻を想定して実行されます。
毎週	ジョブは 1 週間に 1 回実行されます。 ジョブが週の指定された曜日に開始することを意味します。 曜日を指定する際は、1 は日曜日、2 は月曜日というように、整数を 1 つ選択して指定します。 たとえば、スケジューラは、毎週金曜日（選択した曜日が金曜日の場合）の指定した時刻に開始することを想定しています。

定期的な間隔のタイプ	スケジュール
毎月	<p>ジョブは月に 1 回実行されます。</p> <p>各月の指定された日にジョブを開始することを示します。</p> <p>月の1 週目、2 週目、3 週目、または4 週目のいずれかを指定すると、ジョブは毎月特定の曜日に開始されます。</p> <p>たとえば、月間隔で設定すると、スケジューラは、毎月特定の週の特定の日の特定の時間に開始することを想定します。</p>

ステップ 3 [設定 (Settings)] タブをクリックし、オプションの選択に進みます。

定義した設定に従ってジョブが実行されます。このジョブのステータスは、[Jobs] ペインで [Scheduled] に設定されます。

(注) CMEPhoneDiscovery および PhoneXML の探索ジョブは、4 時間ごとに定期的な間隔でスケジュールされます。繰り返しが [なし (None)] に設定されている場合は、これをスケジュールに戻すことはできず、Cisco Prime Collaboration Assurance を再起動する必要があります。

ステップ 4 [保存 (Save)] をクリックします。

タイムテーブルの定義

1 つまたは複数のジョブで使用するタイムテーブルをスケジューラで定義できます。スケジューラは現在の時刻を考慮します。

たとえば、現在の日付と時刻が「2017/06/23、13:48:00 IST」の場合、ジョブは次のように開始されます。

スケジューラ
開始時間 : 2017/06/20 06:27 PM
繰り返し : 時間
毎時 : 5 時間
ジョブの開始時間 : 2017-Jun-20 13:27:00 IST
次のスケジュール時間 : 2017-Jun-20 15:27:00 IST

ジョブは [ジョブの開始時間 (Job Start Time)] に 1 回実行します。

次のスケジュール時間は、[Start Time (開始時間)] とは関連しません。時間数をかけた時刻に開始します。このジョブの次のスケジュール時間のシーケンスは、次のとおりです。

1. 2017-Jun-20, 15:27 時間 (次のスケジュール時間)
2. 2017-Jun-20, 20:27 時間 (15:27 + 5)
3. 2017-Jun-21, 00:27 時間 (時刻は 00:27 時間にリセット)
4. 2017-Jun-21, 05:27 時間 (00:27 + 5 = 05:27)
5. 2017-Jun-21, 10:27 時間 (05:27 + 5 = 10:27)



(注) スケジューラは、1 つ前のジョブが完了しない限り、次のジョブを開始しません。

たとえば、ジョブを 22:00 から開始し、1 分間隔で完了するようにスケジュールしたとすると、ジョブの完了には 2 分かかります。スケジューラは最初のジョブを 22:00 に開始し、実際には 00:02 に完了します。

ジョブのキャンセル

[ジョブのキャンセル (Cancel Job)] を使用し、**スケジュール済み**状態にある検出ジョブを取り消すことができます。ただし、ステータスが次のいずれかの場合、ジョブはキャンセルできません。

- キャンセル済
- 完了
- 失敗
- 実行中

また、次のジョブはキャンセルできません。

- Polling : *Polling* という単語で始まるすべてのジョブ。Polling_CTS-HEALTH_、Polling_TelepresenceSystem_、Polling_CtsMAN-HEALTH_ など。
- Purging : *Purging* という単語で始まるすべてのジョブ。


事前定義済みのクイック フィルタ

Cisco Prime Collaboration Assurance は、次の定義済みのクイック フィルタをサポートしています。

- [All Discovery Jobs] : 検出ジョブの例は DiscoveryFrmBackgroundPathtrace です。デバイスの検出や再検出の実行時、またはインベントリ タスクの更新時に、

Cisco Prime Collaboration リリース 11.5 以降の場合

[インベントリ (Inventory)] > [インベントリ スケジュール (Inventory Schedule)] > [IP フォン インベントリ スケジュール (IP Phone Inventory Schedule)]。

ジョブ インスタンスの結果を表示する：[ジョブの詳細 (Job Details)] ペインの [実行ID (Run ID)] 列の値にマウス ポインタを合わせてから、[クイックビュー (Quick View)]  アイコンをクリックすると、[全体のデバイス サマリー (Total Device Summary)] と [エンドポイント デバイスのサマリー (Endpoint Device Summary)] を表示できます。

- すべてのポーリング ジョブ：ポーリング ジョブの例として、MCU_Conference_Import があります。ポーリング ジョブは、システムが設定された時点で自動的に作成されます。
- [All Report Jobs]：レポート ジョブは、レポートが実行されると一覧に示されます。
- すべてのポーリング ジョブ：セッション インポート ジョブの例は MNGD_Synch_CtsMAN-MEETING です。セッションは、Cisco TMS からインポートされます。これらの管理アプリケーションごとに、個別にジョブが作成されます。
- **Cisco Prime Collaboration リリース 11.5 以降の場合**
すべての会議インポート ジョブ：会議インポート ジョブの例は、MNGD_Synch_TMS-MEETING です。会議は、Cisco TMS からインポートされます。これらの管理アプリケーションごとに、個別にジョブが作成されます。
- [All System jobs]：検出、ポーリングなどのシステム生成ジョブ。システム生成ジョブは、システムがジョブを実行するとすぐに一覧に示されます。
- [All User Jobs]：ユーザ ジョブの例は RediscoverDevices_1347339631540 です。ユーザ ジョブは、ユーザがジョブを実行するとすぐに一覧に示されます。
- [Jobs Run in Last 24 Hours]：過去 24 時間に実行されたジョブの例は、Discovery 2012-Sep-13 10:32:40 UTC です。最後に完了した時間（最後の実行インスタンス）が（現在の時刻から）過去 24 時間以内に収まるすべてのジョブを一覧に示します。

関連トピック

[デバイスの検出](#)

